



発行所 都立田園調布高等学校
同窓会 月日会
東京都大田区田園調布27-1
電話 03 (3750) 4346
発行人 田中博隆
編集責任者 小西正晃

主な内容

- 母校創立五十周年おめでとう特集
- 現代の高校を取り巻く環境を考える
- 月日会ホームページ開設

母校創立五十周年おめでとう

祝賀会十一月六日(土) 大田区民プラザ午後一時より



月日会会長
田中博隆(六期生)

会員の皆様、日頃より同窓会活動にご協力頂き誠にありがとうございます。このたびは、創立五十周年を記念して、本年十一月六日(土)に大田区民プラザにて祝賀会を開催いたします。この機会に、創立五十周年を振り返り、今後の活動について話し合いたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

年会費納入のご寄付

「母校五十周年行事・祝賀会への寄付も目標額にまだ達しておりませんので、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。」

月日会五十周年は二〇〇二年

八月の集中豪雨

―多摩川グラウンドに爪あと―

今夏、神奈川県周辺を襲った集中豪雨で、安倉川で大きな被害を出したことに伴って、いまだ記憶に新しいことと思いが、母校のグラウンドのある多摩川も同じように氾濫、ド流空域に亘って多大な被害をもたらしました。

丁度旧並の八月十三日、十四日にかけてのこと、広い範囲で避難勧告が出されました。幸い死傷者は出なかったものの、増水の速さに河川敷の各施設はたこも対応が間に合わず、当グラウンドも壊滅状態でした。

創立五十周年を迎えて

学校長 吉田 秀男



日頃は月日会名譽会長の東大正男様、会員の皆様には大変お世話になっております。創立五十周年を迎えるにあたり、在職四年目になりました。今年には第五十期生が入学して本校創立五〇周年にあたります。

戦後の復興とともに新しい教育基本法、学校教育法の制定を経て新学制の成立した昭和二十五年に開校した本校の歴史はまさに戦後の高校教育の歩みと重なるなかで、今日まで一万三千百四十三名の同窓生が生活背景である「誠実・敬愛・自主」のもとに生徒の自主自律の精神と



新進風

四十七期生
二百三十二名
月日会員は延一万三千百四十三名となりました。

多摩

高校時代、私は自転車に乗って学校へ行っていた。が、そんな私にも通学し、四本もの電車を乗り継いで通学している。定期券を持ったのは初めてで、改札口を通るときも、大人になった気分です。

多摩川グラウンドは、月日会会長の田中博隆氏が理事長を務める財団法人田園調布が財源的に管理運営をしているもので、このような事態に備えて災害対策費を設けているとのことですが、多額の資金を投じて新しく整備されたばかりなのに、関係者のご苦労がしのばれます。

皆様からのご連絡を
お待ちしております。

同窓会活動の提案、会報への投稿、近況報告、訪ね人やパパーの御返事等々。

千一四五一〇〇六、一
大田区北千束
三二一四一―一四〇九
月日会会長 田中博隆
03-3750-4346

平成十年度総会開催

昨年十一月二十八日、平成十年度月日会総会が池上会館において行われました。当会は、以前は大田区民会館であったところ、かつては、ほろにあ祭演劇部門が催されたところでもあります。そこが近年リニューアルし改称したようです。

出席者は総勢七十余名で、一期から三十期あたりの方々を中心として、古田秀男校長を始め、PTA、清流会の方々が参加下さいました。

家入正男名誉会長（一期）の開会宣言に始まり小西正晃さん（三十七期）の司会で、千木俊江さん（十五期）の議長のもとで議事進行が行われました。新会長には現職田中博隆氏（六期）が満場一致で再選されました。議事は滞りなく終了し、引き続き懇親会に入りました。こ



今年田園創立五十周年に当り、三年後（二〇〇二年）は月日会五十周年記念総会が挙行されますので、今回の総会は、これらの節目における志気の向上に大きなステップになったような気がいたします。特に三年後の月日会五十周年においては、田中会長を中心として月日会幹事一同盛大な催しを検討中です。どうぞ會員のみならず、今後とも月日会にご協力とご支援のほどお願いいたします。

（四十五期生 山田 浩一）

ご来賓いただきました先生方

吉田 秀男 校長
木島 晋恵 教頭
渡辺ニリ子 事務長
松本 治義 元校長
前田 徹 元校長
慶應 孝 先生
望月 輝和 先生
内山 弥生 先生
（職不問）

ご来賓ありがとうございました

http://www.tsukihikai.gr.jp/

の場では、琴の演奏（琴アンサンブル翼、十五期小谷敬子、十七期工藤能理子さん）とエレキトーン奏者古田了子さんにBGMの演奏をお願いし、和やかな雰囲気の中、閉会いたしました。

平成10年度月日会活動表

平成10年4月	46期生238名月日会に入会（月日会会員12,911名） 母校入学式列席、バッジ贈る
5月	年間計画設定 名簿編集
9月	母校文化祭に参加 DPTA パザールに協賛（売上金¥319,650） 大田区へ¥50,000寄付、残金は母校50周年積立金へ 2D小会議室にて会報の展示
10月	平成10年度会報19号発行
11月	平成10年度月日会総会開始
平成11年3月	母校第47回卒業式列席、卒業証書入稿贈る

平成十年度の同窓会の活動報告をいたします。

年間行事に関しては例年どおり母校行事等に参加してまいりました。

詳細は以下の表を参照下さい。

昨年度は定例行事の他に、池上にて月日会総会を開催しました。

総会の報告記事にもありますが、例年に無く和やかな会となり大変うれしく思っております。

果實及び出席の方々には御礼申し上げます。

また、平成十年度に公開は出来ませんが月日会の中へ

ムページの公開も当初より約半年遅れで公開する事が出来ませんでした。

現在のホームページの内容は次のようになっていきます。

1. 更新履歴
2. ホームページの更新の履歴を表示します。
3. ホームページ開設に当たり会長の挨拶を表示します。
4. 常任幹事紹介（現在作成中）
5. 月日会を運営している常任幹事を紹介します。
6. 月日会会則
7. 名簿にも掲載されている月日会の会則です。

会則をご存知でない方は一度ご覧になってください。

5. 月日会会報

歴代の会報を掲載します。

現在、平成十年度会報だけです。今後は歴代の会報を順次掲載して参ります。

6. 連絡先変更手続き

名簿に記載されている事項に変更があった場合の連絡用ページです。

今までは郵便のみで受け付けましたが、電子メール受信後一定の手続きを経て名簿データの更新が可能になりました。

結婚、引越して住所や名字が変わった方はお気味に利用ください。

7. 月日会掲示板

同窓生の交流の場です。

月日会へのイベントの提案、

情報、近況加えて、「××期のご報告」何してある。元気が」など書き込める掲示板です。

皆さんのいろいろなご意見やご提案等を頂けたら作成メンバーも励みになりますのでよろしくお願いたします。

肝心のURLは
<http://www.tsukihikai.gr.jp/>

会計報告

平成10年度分の月日会収支は下記の通り決算致しましたのでご報告申し上げます。

会計 箱谷 和巳 (38期)

会計監査

平成10年度の会計報告について適正かつ妥当であることを認めます。

あらためて次回総会で報告いたしますが、先に会報でお知らせしておきます。

会計監査 大森 正人 (8期)
原 雅裕 (29期)

収入	支出		
前年度繰越金	5,121,284	雑費	251,469
新年度入会金	1,185,000	通信費	129,507
銀行利息等	3,333	印刷発行費	1,474,078
雑収入	288,000	名簿編集費	105,000
会費	1,108,670	祝賀準備費	787,257
名簿売上	4,500	行事企画費	1,479
会費	324,000	卒業生協賛金	72,187
母校前年協賛金	698,500	前年祝い金	71,260
		母校前年協賛金	30,000
		ホームページ制作費	689,272
		50周年積立金	500,000
本年度収入計	3,619,023	今年度支出計	4,328,739
		次年度繰越金	4,481,243
合計	8,640,253	合計	8,640,253

蒲原弘幸さん(6期生)

柏陵高校監督で甲子園へ

ベスト8!!

この夏の高校野球は公立高校の活躍が目立ちました。千葉の柏陵もその一校です。春夏連続出場で新聞紙面をにぎわせていました。その監督、蒲原弘幸さんは田高の六期生です。早稲田から社会人野球を経て、高校野球の監督として過去四校通算六回甲子園の土を踏みましました。八十一歳は尚、高で優勝の経験もあります。今年がベスト8という嬉しい成果をあげました。

おめでとうございます。

新しし教室完成

今年の五月に新しいし教室になりました。機種の進歩はめざましく、いろいろな点において機能が増したように思われます。まず、しし教室本体の機能ですが、以前のものに比べて使いやすく、生徒にモデルテープを録音させたり、英語の発音練習及びリスニングテスト時、英語の授業において大変活用しております。

また生徒の机に備え付けてあるテレビモニター四面を通して教材を提示したり、ビデオを見せる、というような視覚的授業にも役立てています。

以上のようにしし機器のみだけではなく、視覚的機器も備えてあることにより、多面的な授業が展開できるといえるでしょう。

特集

現代の高校を取り巻く環境を考える

日の丸、君が代は国民が主人公の憲法と相いれないか

六期生 石井 賢二

We, the Japanese people, acting through our duly elected representatives in the National Diet, determined that we shall secure for ourselves and our posterity the fruits of peaceful cooperation with all nations and the blessing of liberty throughout this land, and resolved that never again shall we be visited with the horrors of war through the action of government, do proclaim that sovereign power resides with the people and do firmly establish this Constitution.

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によらないより、この憲法を擁護し、この憲法を確定することを宣言し、この憲法を確定する。

私が都立田園調布高校第六期生として入学したのは一九五五年(昭和三十年)四月だった。胸を膨らませて入学して、なにもかも目新しい限りだった。その中でも強烈なインパクトとして記憶に残っているのが、担任の岡田哲朗先生による一般社会、初日の授業だった。先生はいきなり白紙のわら半紙を生徒に配り「今からゆっくり英文を

二度読み上げるから日本語に訳してください」と何かは明かさないうえ、二度英文を読み上げたのである。おそろしく右記の英文を読み上げたと思う。私は両が立たなかつた。おそろしくクラスで完全に回答できた生徒はいなかつたと思う。それは英語で読み上げた憲法前文の二節ではあつたが、憲法前文と憲法をとして生徒に読む気がさせられた

校長の岡田先生にしても、当時のハリウッド映画「ローマの休日」の主演女優、オードリー・ヘッパースの髪形の影響でヘアバナーカットで登校した生徒の髪をハサミで切らさばに

国民的の大論議のもとに主権在民の原則と憲法第九条に基づきわが国を平和の国、日本を作ること

大田区議会議員、日本共産党所属

一月日会副会長

最近の教育を取り巻く環境は急速に変化しています。完全五日制に向けて学習指導要領の改訂が行われました。国旗・国歌も法制化され教育現場に波及をおこしています。東京都でも石原知事が都立高校の再編をとえています。今回の月日会会報ではこうした議論のきっかけになればと特集を組みました。ここに出てくる記事が月日会としての見解ということではなく、原稿執筆者の個人的立場によることをお断りしておきます。活発な議論がなされ、より良い教育環境が実現されることを期待します。これらの記事に対するご意見・ご感想は月日会ホームページ上又は、会報誌上で意見交換をしたいと思ひます。(編集部)

平成十四年度から週五日制導入 学習指導要領改訂

三十七期生 小西 正晃

去る三月二十九日、文部省から高等学校学習指導要領が告示された。今回は幼稚園から高校まで全面的な改訂であった。骨子は平成十年七月の教育課程審議会の答申を受けたもので、完全週五日制の導入(ゆとり)の中で「特色ある教育」を展開し、「生きる力」を育成することを重視している。高校においては「情報」の必修化、卒業に必要な単位の八十から七十四単位に

自分の中の基礎がつかない。現在の学校教育には残念ながらそれだけの余裕はない。一クラス四十人を超えるにはあまりにも複雑なシステムになってしまった。多様な教育を実現するにはそれだけの人材が必要であり、地域の人材を活用というもなかなか条件がそろわないのが現状である。平成十四年度から一斉に週五日制が導入され、平成十五年度から高等学校で学年進行で新学習指導要領が実施される。それまでに学校教育で教えるべき内容を十分に吟味しておく必要がある。「ゆとり」の時間を家庭や社会が育てていけるようにならなければならない。

都立高校の統廃合 二十六期生 川上賢一郎

今私が勤務している志村高校と、隣の北野高校を廃校にして、新しい単位の高校を作るという案が教育庁で進んでいる。わかりやすくいえば、田園調布高校と雪谷高校を廃校にして、田園でも雪谷でもない別の高校を雪谷の跡地に作るというようにすることである。六月二十九日に校長が教育庁に呼ばれ、初めてこの案の説明を受けた。そして、翌三十日には、決定事項であるかのように新聞に発表された。こんな大変なことを、現場の意見を何も聞かず、現場に何も知らせず、突然新聞発表するというのは、体どういふことであろうか?

この計画は実は「都立高校の適正配置計画」という第一から第三次までの計画の一環であり、今回の第二次計画によって、全都で多くの学校が統廃合の対象になる。「本校は、毎年多くの生徒が入学を希望して受験してくるのに、なぜおけもなく廃校にされるのか」というのが現場の率直な気持ちである。教職員、生徒会、PTA、同窓会が一致して怒っている。教育庁によると、生徒が自分の学校に誇りをもてないような高校、交通不便校などが選定の対象というのであるが、志村も北野も「自分の学校に誇りをもてないような高校」でないことは、現場の人間が毎日実感していることである。また、本校の場合六十五パーセントの生徒が徒歩あるいは自転車通学しているにしろ、四十数年前、田園調布高校にて私たちに人生を生き抜く力を教えてくれた先生方の熱意が実るためにも、今なにをすべきかを自覚して行動するのみである。

「通正配置計画」により、都立高校は今の三分の二になってしまふ。少子化、特色ある学校づくり等、大義名分は色々あるようだが、本音は教育庁のある役人が教職員に対して発言した「都立高校一校減らせば、どれだけ税金が浮くか」ということに尽きるのである。

さて、田園、雪谷は校風も似ていて共に全日制普通科高校である。地理的にも近く、生徒の通学環境は似ている。この二校を見て、都の役人が「二つあるのは無駄だから、田園と雪谷をくっつけて、雪谷の場所に別の高校を作ろう」と第三次計画で案が出る可能性は否定できない。そのとき、「田園を廃校にするのではない。一校発展的に統合するのだ」という教育庁の説明に納得できるだろうか。

進路状況

1999年春の卒業生の4年制大学進学先

[] は公募推薦、() は指定推薦、網かけは2部で内数

Table with 4 columns of university names and counts. Includes schools like 千葉, 東京農工, 電気通信, etc.

最近5年間の合格者の多い4年制大学

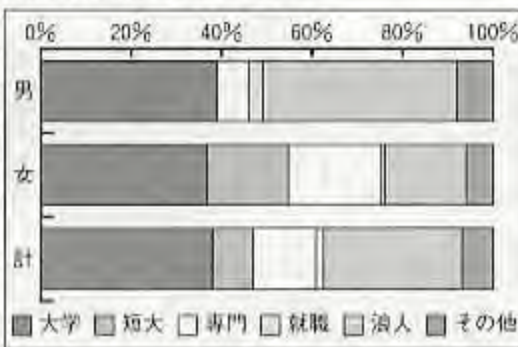
(個人を含む延べ人数、2部を除く)

Table with 5 columns of years (1999-1995) and university names with counts. Includes 関東学院, 神奈川, 日本, etc.

注：都立高校の定員減にともない、この間に卒業生数が減っています。

1999年春の卒業生の進路状況

Table with 4 columns: 男子, 女子, 計, %. Rows include 4年制大学, 短期大学, etc.



今年度

教育実習生より一言

優しい先生、素直な生徒、美味しいパン屋さん... 吉里に帰った気分でした。

齋藤 法子

私にとって教育実習の二週間は大変多くの事を先生方から、そして生徒達から教わった貴重な時間でした。感動！

柴田 新平

田高生の素直さや自主性がしっかりと受け継がれており、とても喜ばしかった。在校生はより

努力したいと思います。

斉藤 史真

強く未来へ向けての田高のありようを夢見ており、今も昔も母校に對する強い誇りを持っており、私自身受ける母校の卒業生の一人として非常に嬉しかったです。

百濱 史実

私にとって、実習に行つて生徒と直にふれあえたことは、とても貴重な体験でした。自分の目標とする教師になれるよう、

努力したいと思っております。

佐知子

近況お便り ありがたひび. Includes a photo of a person and text about their current status.

△十月三十一日に一期生同窓会がありました。田中会長さんからも同席をさせて頂きました。

二期生 鹿野 洋子

△今年(六十才)永年勤めな営業担当専務取締役を退任し、現在、同社にて常勤監査役として勤務しております。時間の余裕ができて月日会々報を読みました。

三期生 大里 堅

△長男は高2(昔の田高のよう)なフレイキの小山台高校に通っています。次男は中2(田高が第一志望だそうです)、三男は小五。三人ともサブカーに就いています。

七期生 武田 文彦

△今年息子が高校入学し、何かと自分の田高時代を思い出すことが多くなりました。

八期生 中神 恭子

△夫の五回忌の仏壇に伴い山形にきています。おいしい果物、お茶、お酒に加え、山々に囲まれ過ごしやすいです。

二期生 武村 容子

△田高で体育の生田先生とはったりお会いしました。あいかわらず若づくりのヌキキ先生でした。

三期生 高橋 雅明

△今年三月に男子を出産し、にぎやかな毎日を送っています。

三期生 青池 静江

△今年も九月十八日、十九日の二日間ほろにあ祭が開催されました。

四年同様月日会では、小会演室での展示と「ふれあいバザール」への参加をしました。今年

は会報発行時期の関係で献品の案内が出来ませんでした。有志で献品を集めました。毎年のことですが思い出した折に月日会までお送り下さい。バザールの売上は四年事業の他、大田区福祉課に寄付されます。

今年の売上は、二十二万八千八百八十円でした。

毎年熱気にあふれたほろにあ祭が行われていますので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

この九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

昨年、浅野福治先生(英語)がお亡くなりになりました。

同窓会活動に大変ご理解いただきありがとうございました。

心より感謝申し上げます。

お祈り申し上げます。

今年九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年九月、古田雅彦先生(園語)の訃告のご逝去の報に接し心よりご冥福をお祈り申し上げます。

教職員異動

- 転出者 異動先 教科目
古川 順五 目黒高 国語
佐良山 茂 九段高 社会
千原 勝吾 市ヶ谷高 理科
小森あや子 九段高 音楽
小林 有代 青山高 英語
梶原恵美子 市ヶ谷高 家庭
宇田田秀雄 退職 警備
藤原 登 退職 数学
転入者 前任所属 教科目
大塚美枝子 富士高 国語
武蔵 亮 芝商高 社会
山口 順一 墨田工商 理科
小中 慶子 芸術高 音楽
高橋 賢一 小平高 英語
林田加代子 新 家庭

編集後記



私が高校を卒業したのが十年前。吹奏楽部の先輩に誘われるまま幹事に就任した。最初の仕事は会報を発行すること。五年ぶりということでも全然様子が変わらなかった。覚えることばかりであつた。覚えていた。それまで三、五年に一度という周期で出していたものの、毎年出さなければならぬ。いろいろな作業を通していろいろな人の手を借りて作り出した会報は、自分の分身の様な気がしてうれしかった。それから十年。毎年いろいろなことがあつた。内館さんにインタビューしたこと等昨日のことの様に思い出せる。自分自身の内面もずいぶん成長したかなとも思える様になった。編集や文章を書くことでも覚えてきたことは、いろいろな場面で役に立っている。同窓会の活動に見返りは求めている。自分でも積極的に関わりたい。得られたものは大きい。ご苦労様です。とかがかかっているのを見ると、何だか小ツツとする。今回の会報の編集にあたっては、場所や資料の提出から細部にわたつて見ていただいた田中会長をはじめ、十一期鈴木洋子さん、十四期初音みね子さん、十五期鈴木俊江さんによるアドバイスをいただいた。川上副会長、林幹事長からのご協力もあつた。三十八期藤谷君、四十五期山田君、浅野君、梅田君には最初の割り付けから手伝ってもらつた。感謝しています。これからもコツコツと活動を通じていくために、ご理解、ご協力をお願いして編集のことはとさせていただきます。三十七期生 小西 正晃

同窓会会報 祝 創刊号 1902.10. Includes text about the anniversary and subscription information.